



# 親子でなにわ新発見!

おとなと子どもがともに楽しめる講座やイベント、施設を体験レポートします。  
今回ご紹介するのは「住吉図書館」です。

## 図書館へ行って見たら...の巻

このコーナーでは度々図書館を紹介してきました。リニューアルした中央図書館をはじめ、どこの館も工夫をこらしたイベントなどがたくさんありました。今回はそんな中でも今、注目の「住吉図書館」の紹介です!

かつては、本を借りる、閲覧する、といったイメージが大きかったものが、最近の図書館のイメージは、どんどん変化しているのではないのでしょうか? 今回おじゃました「住吉図書館」は、今年1月5日にリニューアルオープンしたばかりの大阪市内でも一番新しい図書館です。中に入るとカウンター前には長い列ができていました! 図書館の方に話を聞いたところ、本の返却、貸出はもちろん、新しく図書館カードを作る方もたくさんいるということで、新しくなってからの利用者数は格段にアップしているそうです。

では、どんなところが新しくなったのかというと...。閲覧室が広がったのはもちろん、書架の高さが以前より低くなり、見やすくなっています。本を探すときに上を向いて疲れるとか、取りにくい、ということがなくなりました。なにより圧迫感がないの



対面朗読室

で落ち着いて過ごせます。蔵書数はこれから増えていく予定ということなので新刊情報などこまめにチェックしてみてください。壁面の大阪市内での催しのポスターも見逃さないでください。入り口付近には各種行事案内



お話し室



書架



ライブグループ「くみどり」

のパンフレットもたくさん置いてあります。また、CDやDVDの貸出も始まりました。

そして、もうひとつ新しいサービスとして、視覚障がい者への対面朗読サービスが行われています。専用の部屋があり、音訳協力者の方に利用者が事前に選んで指定した本を対面で読んでもらいます。

子ども向けには週ごと、月ごとに決まっている催しがあります。毎週水曜の午前は乳幼児向けの「おはなしのじかん」。毎月1回、木曜は小学生も参加できるように午後に「おはなし会」があり(4月からは第2・3水曜の2回に変わります)、毎週土曜の午後にも「おはなしのじかん」があります。今回おじゃました1月29日の土曜は、開館記念行事のイベントの日。ライブグループの大型絵本や歌と民族楽器の演奏もあって、それは楽しいひとときでした。多目的室は超満員!

図書館が情報の発信拠点として注目されているのは、“何かあるかも、だれかに会えるかも、発見があるかも”という期待に応えてくれるからではないでしょうか。大阪市では各区に、地域館があり、それぞれが独自に工夫をこらしていますから、各館を回ってみても楽しいでしょう。家族で近くの図書館へ行ってみませんか?

(文・写真: 梅木智子)

### 住吉図書館

<http://www.oml.city.osaka.jp/info/70sumiyoshi/index.html>

場所 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉3-15-57

電話 6606-4946 FAX 6606-6987

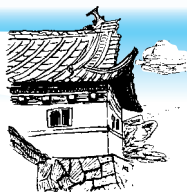
開館 火～金曜 10:00～19:00 土・日・祝 10:00～17:00

休館 月曜(祝休日の場合は開館)

館内整理日(毎月末日)

年末年始、蔵書点検期間

交通 南海「沢ノ町」



## おおさか歴史探訪

大阪の史蹟や歴史資料を毎号連続でご紹介します。

### 平野郷と大念仏寺

中世に堺と並ぶ自治都市として有名な平野郷の名前は、平安時代初期以降の記録に現れますが、戦国時代にはたびたび戦場となり、特に大坂冬の陣の際には徳川方に組したため、豊臣方の焼き討ちにあい、北端の杭全神社のあたりを除くほとんどを焼失しました。江戸時代には復興し、集落の周囲に濠と土塁をめぐらせて、城郭をおもわせる構造でした。濠の要所には13ヶ所に木戸門が設けられていましたが、これらの場所には現在も地蔵堂が祀られています。『撰津名所図絵』という江戸時代後期の書物に、大念仏寺のそばにあった木戸門のひとつ「馬場口」の様子が描かれています。

その大念仏寺は融通念仏宗の総本山として大伽藍を構え、東を向いて置かれた正面の山門は、中央の部分を屋根を高くし両脇を段違いに低くした豪快なつくりです。江戸時代にわが国に伝わった黄檗宗様式という珍しい建築様式で、華やかな装飾をふんだんにつかった建築です。宝永3年(1706)の建設で、大阪市の有形文化財に指定されています。本堂は昭和13年に完成したのですが、大阪府下で最大の木造建造物で、国の登録文化財に登録されています。また毎年5月1日から5日までの間におこなわれる通称「万部おねり」では、最後に「お練供養」がおこなわれます。仏像の面をつけた僧侶が演じる25菩薩と信徒が練り歩く様子は、現世から極楽へ向かう様子を表した華美荘厳な儀式で、市の無形民俗文化財に指定されています。

(文・写真: 教育委員会文化財保護担当)



大念仏寺山門

